

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
YICキャリアデザイン専門学校	平成4年2月24日	須内 章雅	〒745-0073 山口県周南市代々木通2丁目33番地 (電話) 0834-22-9111																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人YIC学院	平成9年1月29日	井本 浩二	〒754-0021 山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8111																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
工業	工業専門課程	デザイン科(イラスト・マンガ専攻)	平成21年文部科学省 告示第22号	平成〇年文部科学省 告示第〇号																		
学科の目的	業界のプロによる専門的かつ実践的な学修を通じて社会との積極的な関わりを持ち、企画力・プレゼン力を養成し、地域の活性化につながる役割を果たしうる人材の育成を目的とする。																					
認定年月日	平成 年 月 日																					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	1. 860時間 昼間	180時間	1, 650時間	30時間	0時間	0時間																
生徒総定員	生徒定員	留学生数(生徒委員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
60	40人	1人	2人	7人	9人																	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日	成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 原則として年2回の半期末に科目試験を行う。実習等で試験実施が困難な科目では、課題で代替する場合がある。科目教育課程表に示す各学年における要履修単位数を修得すること																		
長期休み	■学年始: 4月6日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月25日～1月7日 ■学年末: 3月20日	卒業・進級条件		■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生自治会、学園祭実行委員、イベント会場での似顔絵実演学生作品展																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 休みが初期の段階で、前年の欠席状況を担任が把握する。昨年までに長期欠席の経験があれば、昨年の担任・高校時の担任へ状況を聞いてみる。保護者、本人へヒアリングを開始し、安易に長期欠席にならないように原因の特定と改善の工夫を、担任・学科主任・学年主任等チームで対応する。長期欠席となつてからは、保護者面談や、臨床心理士による個別カウンセリングなどの支援策に取り組む。	課外活動		■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する平成31年5月1日時点の情報)																		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 印刷・広告・写真・出版業界へ 大村印刷株式会社 瞬報社オフライン印刷株式会社 瞬報社写真印刷株式会社 株式会社地域情報新聞 株式会社無限 ■就職指導内容 YIC本部のキャリアサポート室と担任とで就職指導を実施 ■卒業生数 21 人 ■就職希望者数 17 人 ■就職者数 17 人 ■就職率 : 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 90.5 % ■その他 ・進学者数: 2人 ・無就職者数: 2人 令和 2 年度卒業生に関する 令和3年5月1日 時点の情報		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レタリング検定</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>15名</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>CG・Web検定</td> <td>③</td> <td>9名</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>		資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	レタリング検定	③	19人	13人	色彩検定	③	15名	7人	CG・Web検定	③	9名	6人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																			
レタリング検定	③	19人	13人																			
色彩検定	③	15名	7人																			
CG・Web検定	③	9名	6人																			
中途退学の現状	■中途退学者 1 名 ■中退率 2.3 % 令和2年4月1日時点において、在学者 4 1 名 (令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者 4 0 名 (令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例) 学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 進路変更のため ■中退防止・中退者支援のための取組 中退未然防止として、入学後、進級後に学校生活満足度と意欲、クラス集団の状態を調べるアセスメントツールを使用。学校満足度、学校生活意欲度、ソーシャルスキル度、悩みに関するアンケート結果により、問題行動として現れる前に発見し対策を立てられるように取り組む。 学生にとっての魅力的な学校づくりを目指し、授業の工夫やクラス集団運営の工夫を行っていき、クラス担任は欠席状況を把握し、欠席が続く前に個人面談の実施や保護者との連絡を密にし、安易に休ませない対応を取る。 中退の兆候がみられる学生の対応は、担任一人で行わずチームで対応する。担任、学科主任、学年主任等が情報を共有し、対応後は必ず記録に残す。 必要に応じて臨床心理士による教育相談が可能であることが学生便覧に書かれているが、担任からの呼びかけや掲示板での連絡も併用し情報を流す。教育相談は専用のメールアドレスを用意し、教職員への相談に応じて受けられる体制を取っている。																					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: <input checked="" type="radio"/> 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 ・指定校推薦奨学生制度 初年度後期授業料 5万円減免 ・自己推薦奨学生制度 初年度後期授業料 3万円減免 ・YIC特待生制度 Sランク～Dランク 初年度後期授業料30万円～5万円減免 ・特別就学支援制度 生活保護世帯など経済的に厳しい学生 初年度後期授業料 20万円減免 ・社会人奨学制度 初年度後期授業料 5万円減免 ■専門実践教育訓練給付: <input checked="" type="radio"/> 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 0人																					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: <input checked="" type="radio"/> 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科のホームページURL	URL: http://www.yic.ac.jp/cd																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、資金、報酬その他経済的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学者

3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 学科において実践的かつ専門的な教育を行うため、県内の企業や行政、学校等からのデザイン制作依頼を受け、制作の契約や覚書を締結し、契約の下、クリエイタ創成・育成を行うことと県内の企業や行政、学校等からの依頼内容によりカリキュラムを編成し、山口県デザイン協会から研修・指導を受けた教員が実践教育の指導を行うことによりデザイナーとしての職業観を身につけデザイン力の技術向上を図ることを基本方針とする。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 地域(産官学)連携により作成の依頼を受け、観光PRなどのポスターやPRグッズを制作し地域貢献			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科目名	科目概要	連携企業等	
エディトリアル	実際の掲示を目的とした募集ポスターを制作。選考後修正を行い、製品として納品することにより「地域連携」を習得。	周南市選挙管理委員会 よさこいぶち菜市民祭実行委員会	
プランニング	グループワークによる観光ポスターを企画。マーケティングやディスカッションを重ね、プレゼンテーションまで行う、「デザイン企画」を習得。	周南市観光交流課	
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にしていること。」関係			
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ・YICグループ教職員研修規程に基づき計画的に研修を実施している。 ・授業及び学生に対する指導力等の修得・向上のための研修をYIC教職員 人材育成研修 体系図に基づき計画的に実施している。 ・教員業務に携わるにあたり、姉妹校教員合同での研修・研究を実施。 ・日々進歩する業界の技術やトレンドに精通するため、マーケティングを推奨する。 ・日本グラフィックデザイナー協会、山口県デザイン協会が主催する研修・勉強会への参加機会を支援する。			
(2)研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 ・平成30年9月日本グラフィックデザイナー協会 日本グラフィックデザイナー協会研修 デザイン科教員2名 デザインコンペの概要指導、活動研修など ・平成30年7月～9月公益社団法人二科会 二科展研修 デザイン科教員2名 二科展作品審査と見学・懇談会 ・平成30年10月やまぐち産業維新展 YDA学生デザインコンペ デザイン科教員2名 企業セミナー研修 ②指導力の修得・向上のための研修等 YIC教職員研修 平成30年度と同等のものを実施予定 教員2名を派遣予定			
(3)研修等の計画 ①専攻分野における実務に関する研修等 日本グラフィックデザイナー協会研修、二科展研修 ②指導力の修得・向上のための研修等 YIC教職員研修 平成30年度と同等のものを実施予定 教員2名を派遣予定			
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1)学校関係者評価の基本方針 ・学校関係者評価委員会において、本校が行う自己点検評価の結果と根拠を示し、とくに当該年度の重点項目を中心に意見等をまとめ報告書を作成していただく。 ・学校関係者評価委員会からの報告書に基づいて本校の自己点検評価を見直し、次年度の改善計画における重点項目を決定する。 これらについて年報・ホームページ等で公表する。			
(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目		学校が設定する評価項目	
(1)教育理念・目標	1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標		
(2)学校運営	7 管理運営 9 改革・改善		
(3)教育活動	2 教育の内容		
(4)学修成果	4 教育目標の達成度と教育効果		
(5)学生支援	5 学生支援		
(6)教育環境	3 教育の実施体制		
(7)学生の受入れ募集	5 学生支援		
(8)財務	8 財務		
(9)法令等の遵守	7 管理運営		
(10)社会貢献・地域貢献	6 社会的活動		
(11)国際交流			
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3)学校関係者評価結果の活用状況 ・本校で実施した自己点検評価・改善計画を学校関係者評価委員会に提出し、意見・協議結果をもとに学校機能評価報告書をまとめ、年報・ホームページで公開する。改善計画にもとづき学校運営や教育の改善を計画的に行う。 今後、シラバス・コマシラバスの整備をインストラクショナル・デザインを取り入れて改善していくことに決定した日本レベル、世界レベルでの公募展への出品を考えたらどうか。 現在は二科展に出品しているが今後、JAGDAへの出品を実施する。また世界レベルの出品はイラストレーション(雑誌)のザ・チョイスやネット新聞などで出店先を検討中			
(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
令和2年7月31日現在			
名前	所属	任期	種別
山下 圭三	一般社団法人 山口県デザイン協会 理事 陸美マイクロ株式会社 代表取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
辻岡 敦	学校法人山口県桜ヶ丘学園 山口県桜ヶ丘高等学校 校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	高校関係
重国 夕子	医療法人こうえい会 香田整形外科医院 秘書	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
松原 裕美	保護者	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	保護者
西村 朝美	Honey Design 代表	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等			

授業科目等の概要

工業専門課程デザイン科（イラスト・マンガ専攻）令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			アプリケーション基礎	アナログ&デジタルデザインの活用方法と、その作成方法を時系列的に習得。	1 年前期	45	2	○			○		○		
○			色彩計画	色彩感覚の基礎を養う。制作に関わる知識を習得。調色や配色バランス感覚を鍛え、検定取得と制作力を身に付ける。	1 年前期	30	1	○			○		○		
○			レタリング	文字構成とスペーシング感覚の養成と訓練を実施。デザイン・マンガ系の文字知識および構成バランスをとれるようにする。	1 年前期	45	2	○			○		○		
○			写真基礎	アナログ・デジタルカメラの撮影技術向上と、スタジオ内ライティング技術等を習得。	1 年前期	30	1	○			○			○	
○			キャラクターデザインI	マンガ・キャラクター描画に関する基礎的な知識と技術で、MCの理解を習得。イラスト・キャラクターの表現方法と、作品への応用力を養う。	1 年前期	30	1	○			○			○	
○			デザイン概論	デザインの歴史認識と、その業務内容を実務事例等を踏まえ講義を行う。概要を理解し、各種デザイン物の役割が理解できる。	1 年前期	15	1	○			○		○		
○			印刷概論	印刷の歴史認識とDTP業務を理解。Mac機器と印刷加工の関係性を習得。	1 年前期	15	1	○			○		○		
○			ドローイング	鉛筆デッサンを軸に物のとらえ方、描画能力の向上、基礎の習得。	1 年前期	15	1	○			○		○		
○			デッサントレーニング	基礎的静物描画～デザインを意識したレイアウト力、デッサン力の技術向上を習得。	1 年前期	15	1	○			○		○		
○			イラスト実習	プレゼンテーションを行うことができる。デッサン力～イラスト描写力を習得、似顔絵対応力を身につける。	1 年前期	30	1	○			○		○		
○			ベーシックデザイン	平面構成力を養成する。スペーシング・配色・レイアウト力を身に付け、制作物へ応用することができる。	1 年前期	30	1	○			○		○		
○			デジタルデザインベーシックI	デジタル制作環境をデフォルトの状態にする。課題を落とし込み、制作フローを組み立て効率よく制作を行えるようにする。	1 年前期	60	2	○			○			○	

○		デジタルデザインテクニックⅠ	企業に要求される、機材の習熟度を上げる。効率の良い制作方法を見極めることができる。	2年前期	30	1		○										
○		POP	POP広告の企画制作と、立体物に関する表現能力が身に付く。企画から現物の制作まで、デザイナー業務の手順を経験する。	2年前期	30	1		○		○								○
○		ビジュアル表現	ラフスケッチ～コンテ等の段階的制作と、そのプロセスの確認方法を習得。	2年後期	60	2		○		○								○
○		Web制作	ホームページ制作の考え方と、アプリケーション使用によるサイト構築の習得。	2年後期	60	2		○		○								○
○		イベント表現	卒業制作に関するポスターパネルの制作と、それに付随する販促品展開を習得。	2年後期	30	1		○		○								○
○		販売促進	コピーワークを含め、実務レベルに対応した広報物の作成で販促手法を習得。	2年後期	15	1		○		○								○
○		デジタルデザインテクニックⅡ	企業に要求される、機材の習熟度を上げる。効率の良い制作方法を見極めることができる。	2年後期	30	1		○										
○		ソーシャルスキル2	就職活動へ向けての目標設定。マナー研修・面接・履歴書指導及び進捗に合わせた対策を行う。	2年通年	60	2	○			○								○
○		制作実習Ⅰ	原稿制作の基礎から応用までの工程を理解し、習得した技術を用いて原稿制作ができる。	2年前期	60	2		○		○								○
○		ストーリー技術	マンガ制作において基盤となる話作りのノウハウを習得。	2年前期	30	1		○										○
○		マンガ演習Ⅰ	マンガ原稿の制作。1年次の制作技術を踏まえ各種雑誌賞への投稿。	2年前期	30	1		○		○								○
○		誌面構成	各雑誌向けのページ構成や、製本作業における知識・技術の習得ができる。	2年後期	60	2		○										
○		キャラクター技術	年代別の人物の描き分けや、各ジャンルに沿ったキャラクター設定の基本を習得できる。	2年後期	60	2		○		○								○
○		作画技術	マンガの表現における基本的な表現方法や、	2年後期	60	1	○	○		○								
○		ストーリー表現	各ジャンルのマンガ誌に精通したストーリーの作り方と表現力を習得できる。	2年後期	60	2		○		○								○
○		制作実習Ⅱ	原稿制作の基礎から応用までの工程を理解し、習得した技術を用いて原稿制作ができる。	2年後期	60	2		○		○								○

○		マンガ演習Ⅱ	マンガ原稿の制作。1年次の制作技術を踏まえ各種雑誌賞への投稿。	2 後 期	60	1	○	○	○				
○		ストーリー構成	ページの見せ方、読者を引き込む作画力を養成。各種ツールの応用テクニック。	2 年 後 期	60	2	○	○	○				
○		キャラクター表現	魅力あるキャラクターの造形・設計を学習。原稿の構成に必要な制作力を習得。	2 年 後 期	60	2	○	○	○				
○		作画構成	画面の構成力、展開のための作画力を統合学習。投稿作品の完成。	2 後 期	60	1	○	○	○				
合計					56科目		1,860単位時間(62単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
必修62単位 総計62単位取得		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。